

data for academic and career counseling

生徒は志望校を決めるとき、成績と照らし合わせて選んでしまいがちである。しかし、大切なのは将来を見通した大学選択である。大学に入ってから満足度、卒業後の進路など、多様な視点から大学研究をさせたい。

国家公務員採用 種試験合格者数 (3か年上位10大学)

'97年度		'96年度		'95年度	
1 中央大	216	1 日本大	236	1 中央大	234
2 日本大	214	2 早稲田大	228	2 早稲田大	205
3 明治大	197	3 中央大	214	3 日本大	191
4 早稲田大	194	4 明治大	168	4 明治大	173
5 立命館大	169	5 立命館大	148	5 立命館大	144
6 同志社大	159	6 同志社大	144	6 岡山大	119
7 法政大	134	7 東北大	132	7 北海道大	116
8 岡山大	129	8 法政大	131	8 同志社大	114
9 九州大	125	9 広島大	115	9 広島大	111
10 東北大	116	10 関西大	111	10 法政大	103

\* '98、'99年度の大学別合格者数は非公表 人事院調べ。

'99年度は競争率が12.0倍と、昨年度の9.8倍を大きく上回った。私立大出身者が48.0%を占める。大学卒業者が46.1%と、大学卒業見込者等を上回っている。

国家公務員採用 種試験合格者数 (3か年上位10大学)

'99年度		'98年度		'97年度	
1 東京大	368	1 東京大	341	1 東京大	342
2 京都市大	166	2 京都市大	135	2 京都市大	158
3 早稲田大	76	3 早稲田大	65	3 早稲田大	78
4 東北大	62	4 北海道大	59	4 北海道大	60
5 慶応大	58	5 慶応大	57	5 東京工大	56
6 九州大	45	6 東北大	55	6 東北大	55
7 北海道大	40	7 東京工大	46	7 慶応大	54
8 東京工大	38	8 名古屋大	42	8 九州大	43
9 大阪大	33	9 九州大	40	9 名古屋大	40
10 名古屋大	28	10 大阪大	38	10 大阪大	36

人事院調べ。

'99年度は競争率が32.4倍という狭き門となった。合格者実績上位の大学は例年変わらず、国立大出身者が81.1%を占め、理工系では大学院生が74.5%を占めた。

司法試験第2次試験合格者数 (3か年上位10大学)

'98年度		'97年度		'96年度	
1 東京大	213	1 東京大	188	1 東京大	181
2 早稲田大	117	2 早稲田大	99	2 早稲田大	108
3 慶応大	91	3 京都市大	86	3 京都市大	86
4 京都市大	73	4 中央大	76	4 慶応大	71
5 中央大	68	5 慶応大	67	5 中央大	57
6 一橋大	31	6 一橋大	33	6 一橋大	34
7 同志社大	26	7 大阪大	15	7 大阪大	20
8 大阪大	20	7 上智大	15	8 上智大	16
9 東北大	19	7 明治大	15	8 九州大	16
10 上智大	18	10 九州大	13	10 明治大	15

司法試験管理委員会調べ。

'98年度の対出願者合格率は2.66%と超難関だが、合格者数は812人で史上最多であった。合格者の平均受験期間は4.93年、平均年齢は26.90歳。

公認会計士試験第2次試験合格者数 (3か年上位10大学)

'98年度		'97年度		'96年度	
1 慶応大	119	1 慶応大	115	1 慶応大	115
2 早稲田大	97	2 早稲田大	85	2 早稲田大	95
3 中央大	34	3 中央大	38	3 中央大	39
4 東京大	29	4 明治大	33	4 一橋大	38
5 明治大	28	5 一橋大	26	5 明治大	33
6 神戸大	26	6 東京大	23	6 京都市大	26
7 同志社大	23	7 大阪大	23	7 関西学院大	24
8 京都市大	22	8 関西学院大	22	8 東京大	23
9 一橋大	21	9 同志社大	21	9 横浜国立大	22
10 青山学院大	17	10 京都市大	19	10 神戸大	21
		10 横浜国立大	19		

日本公認会計士協会調べ。

'98年度の対出願者合格率は6.72%という難関の試験で、上位を私立大が占めている。大学卒業者が84.4%(567人)を占め、大学在学者は100人に満たない。

大学生の教員満足度 (上位20大学)

評価点		評価点	
1 国際基督教大	4.204	11 お茶の水女子大	3.645
2 津田塾大	3.830	12 桜美林大	3.644
3 上智大	3.775	13 日本福祉大	3.635
4 麗澤大	3.772	14 学習院大	3.611
5 神田外語大	3.718	15 杏林大	3.609
6 筑波大	3.712	16 金沢工大	3.577
7 一橋大	3.711	17 東京女子大	3.562
8 東京都立大	3.684	18 久留米大	3.551
9 慶応大	3.675	19 東京大	3.547
10 東京工大	3.663	20 神戸女学院大	3.543

ベネッセ文教総研調べ。

「教育・指導で工夫している教員が多い」、「学問の専門家として優れた教員が多い」、「個人的魅力がある、影響を受ける教員がいる」など6項目の平均で満足度を測定。

大学生の就職・進学支援満足度 (上位20大学)

評価点		評価点	
1 津田塾大	3.842	11 中央大	3.510
2 立命館大	3.801	12 武蔵大	3.500
3 関西大	3.695	13 早稲田大	3.495
4 京都産大	3.656	14 慶応大	3.481
5 関西学院大	3.578	15 法政大	3.469
6 九州産大	3.577	16 日本女子大	3.454
7 松山大	3.560	17 明治大	3.437
8 福岡大	3.552	18 武庫川女子大	3.436
9 東北学院大	3.545	19 東北福祉大	3.435
10 跡見学園女子大	3.529	20 西南学院大	3.430

ベネッセ文教総研調べ。

「就職部は資料や情報が豊富でよく整理されている」、「企業との間にパイプがあり、求人も多い」、「大学院進学の情報豊富」など6項目の平均評価点で満足度を測定。

科学研究費補助金採択件数 ('99年度上位20大学)

採択件数(件)	配分額(千円)	採択件数(件)	配分額(千円)		
1 東京大	2,414	9,776,900	11 岡山大	479	1,122,200
2 京都市大	1,806	6,581,600	12 神戸大	467	958,400
3 大阪大	1,529	5,139,900	13 慶応大	454	1,005,800
4 東北大	1,510	5,146,800	14 千葉大	406	903,800
5 九州大	1,225	3,479,200	15 熊本大	373	1,204,800
6 北海道大	1,119	3,637,500	16 新潟大	370	760,400
7 名古屋大	989	3,583,400	17 金沢大	365	737,100
8 東京工大	725	2,607,100	18 徳島大	346	684,400
9 広島大	724	1,689,300	19 長崎大	319	585,300
10 筑波大	636	1,658,200	20 東京医歯大	318	740,900

\*新規採択+継続分 文部省調べ。

大学の研究に欠かせない科学研究費。その申請研究の採択率は3割程度。総額1314億円('99年度予算)の採択件数上位は、国立大が占めている。

将来を見据えた大学選択を促す  
志望校を考えると、生徒は「自分の学力で入れる大学はどこか」という基準で選んでしまつことが多い。もちろん、自分の学力を把握することは必要だが、それだけで大学を選ぶのではなく、自分の将来を考えた上で、視野を広く持った大学研究を行わせたい。そのためにも、多様な視点から大学を見られる資料を生徒に提示することが求められる。  
大学に何を求めるのか、自分に合う大学はどこか、自分の就きたい職業へ近付ける大学など、目的意識を明確にした上で志望校を選択できれば、受験に対する姿勢も変わってくる。将来を見通した大学選択の重要性を明示し、成熟した進路観を育てるためにも、具体的なデータを生徒に提示する必要があるだろう。

大学生の大学満足度 (上位20大学)

評価点		評価点	
1 国際基督教大	4.581	11 東京大	3.979
2 一橋大	4.200	12 早稲田大	3.978
3 筑波大	4.133	13 北海道大	3.941
4 上智大	4.125	14 関西学院大	3.909
5 武蔵大	4.077	15 大谷大	3.891
6 慶応大	4.053	16 関西大	3.891
7 学習院大	4.040	17 神戸女学院大	3.886
8 東京女子大	4.029	18 立教大	3.883
9 津田塾大	4.000	19 千葉大	3.843
10 京都市大	3.980	20 成蹊大	3.833

ベネッセ文教総研調べ。

'97年8月に、約2万4千名の大学生(191大学)に行った「大学満足度調査」による大学全般についての評価点。67%の学生が「満足している」と答えている。

大学生の授業内容・教授法満足度 (上位20大学)

評価点		評価点	
1 国際基督教大	3.710	11 東海大	3.270
2 津田塾大	3.560	12 同志社女子大	3.269
3 神田外語大	3.421	13 北里大	3.258
4 杏林大	3.404	14 東京都立大	3.245
5 上智大	3.395	15 慶応大	3.241
6 東京女子大	3.380	16 日本女子大	3.214
7 麗澤大	3.336	17 京都外大	3.208
8 跡見学園女子大	3.333	18 ノートルダム清心女子大	3.205
9 久留米大	3.322	19 玉川大	3.180
10 筑波大	3.320	20 神戸学院大	3.176

ベネッセ文教総研調べ。

「内容豊富な授業が多い」、「授業が分かりやすい」、「教材がよく研究されている」、「シラバスと実際の授業がよく連動している」など5項目の平均評価点で満足度を測定。

大学研究資料を作るための四つのポイント

- 1 説得力を持たせるために具体的なデータを提示する  
大は授業が充実しているらしい、「x x大は就職に有利らしい」など、あやふやな情報に左右されがちな生徒に、具体的なデータを与え、正確な情報に基づいて大学選択をさせたい。数字などで実状を目に見える形で提示することで、慎重に大学選択をさせることが重要。
- 2 大学の個性を知ることの重要性に気付かせる  
一口に大学と言っても、中身は千差万別である。大学への満足度、就職・各種試験対策への熱心度など、大学にも個性があることを伝え、自分の目的に合った大学はどこかを調べる重要性を伝えたい。
- 3 より現実感を持たせるために大学生の声を盛り込む  
具体的な数字を提示するだけでなく、実際の大学生の話も資料に加えられれば、生徒はよりリアルに大学選択の重要性を感じられるだろう。卒業生に協力を仰ぎ、大学選択に成功した先輩の声、失敗した先輩の声を集めてもよい。
- 4 大学選択をするために必要な観点を提示  
全生徒が必要とするデータを、すべて資料に盛り込むのは不可能だ。何を重視して大学を選ぶかなど、いくつか観点を提示した提出用のプリントを配り、各個人に調べさせるようにしたい。